

新規

主催：京都府中小企業技術センター

会場：京都府中小企業技術センター 5階研修室

京都市下京区中堂寺南町1-3-4

京都リサーチパーク東地区内

『機械設計基礎講座』

機械設計者に必要とされる知識は設計から加工・計測まで、非常に広い範囲となります。

当センターでは、「機械設計基礎講座」を開催し、主に設計技術者を対象に、設計製図に必要な寸法公差、幾何公差や材料、加工方法等の基礎となる知識習得の場として、設計技術力の向上を支援します。

内容(予定)

オンライン(ZOOM)との併用開催

◇第1回「設計に役立つ、加工と測定の知識」

開催日：8月29日(月) 13時~17時

- ① 設計と加工の関係
- ② 加工とは
- ③ 各種加工法
- ④ 加工の自動化
- ⑤ 測定と評価の方法

◇第2回「設計者の意思を伝える、「幾何公差」の利用法1」

開催日：9月28日(水) 13時~17時

- ① 幾何公差の必要性
- ② 幾何公差の特徴
- ③ 各要素の図示と測定方法

◇第3回「設計者の意思を伝える、「幾何公差」の利用法2」

開催日：11月2日(水) 13時~17時

- ④ Vブロックでの図示例紹介
- ⑤ 幾何公差判定のための測定
- ⑥ ソフトウェアの活用とモデルベースでの設計・製造

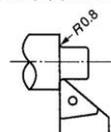
講師

林 正弘 氏 QVI ジャパン(株)
 (日本工業大学 非常勤講師)
 ※会場にて講義予定

Ⅲ. 各種加工方法「切削加工」

1. 旋盤

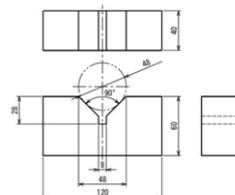
右の写真が一般的な旋盤です。
 旋盤では材料を回すことで、比較的容易に、丸いものを加工することが出来るのが特徴です。



Vブロックに幾何公差を付ける

これまで学んだ事を前提に、製図の課題としてよく用いられる、Vブロックに幾何公差を付けてみましょう。

「Vブロック」は主に円柱形状の材料や部品を固定するために使用する工具。



参加費 無料

定員 会場 :20名

(各回) オンライン :応募状況により調整

受講要件 設計・製図業務に関わる方

☆全3回を受講していただくことが望ましいですが、個別で受講していただくことも可能です。また、第3回目のみを受講される方については、「幾何公差の基礎知識があること」を参加要件に追加させていただきます。

※新型コロナウイルス感染症の流行状況等によっては中止や内容・時間等が一部変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

また、受講にあたっては、以下の感染拡大防止措置の徹底をお願いします。

- ・マスクの着用
- ・丁寧な手洗い、手指消毒(当センター入口等にアルコール消毒液を設置しています)
- ・発熱等の症状がある方は参加を控えていただくこと

お申し込みはこちらの二次元コードから



*ご記入いただいた個人情報、本講座の受講者名簿として活用させていただきます。